

歯学教育の  
国際標準への  
適合のために



NIIGATA  
TOHOKU  
HIROSHIMA

FACULTY OF  
DENTISTRY



# 連携機能を活用した 歯学教育高度化プログラム

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業（分野連携） 平成24年度採択



東北大学  
TOHOKU UNIVERSITY



新潟大学



広島大学

歯学部 Faculty of Dentistry



# 連携機能を活用した歯学教育高度化プログラム

平成24年度 文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」選定取組  
■取組大学■ 新潟大学（代表校）、東北大学、広島大学



## 全国29歯科大学・歯学部の全国的共通課題

社会変革・時代ニーズに対応した歯科医師養成

### 新潟大学・東北大学・広島大学3大学の特色ある教育資源

#### ● 新潟大学

統合型基礎臨床実習教材の開発・提供  
問題発見・解決型学習の教材開発・提供  
医療保健・福祉教育の提供

#### ● 共同教育プラットフォーム

- 共同教育企画・立案
- 教育相互乗り入れ講義
- 共同教員FD企画・立案・実施
- サマースクール開催
- 共通 elective course 設定

教育方法、評価方法の開発を目指す各種WG

- 1 教育評価方法開発 WG
- 2 共同FD・ワークショップWG
- 3 先端教育調査WG
- 4 相互チェックWG

#### ● 東北大学

研究者養成プログラムの提供  
歯工連携(異分野融合型)教育プログラムの開発・提供  
時代に適応した臨床実習教育プログラムの開発

#### ● 広島大学

国際化教育プログラムの開発・提供  
短期海外派遣(留学制度)プログラムの提供  
高度先端技工教育プログラムの提供

内部評価委員会  
(自己点検・自己評価)

ステークホルダー | 日本 歯科医学教育学会

外部評価委員会  
(国内外有識者)

評価指標  
参加学生・教員数  
学生教育評価アンケート  
相互チェック評価 等  
共同教育プログラム数  
大学院進学率

期待される成果

対) 社会・国民

- 情報発信
- 研究成果の還元
- 良質な歯科医療の提供

対) 歯学教育

- 全国波及
- 歯学教育の標準化
- 教育の質の担保

### 連携実施体制

本事業を推進するため、共同教育プラットフォームに「共同教育プラットフォーム委員会」を設置し、3大学歯学部長、教務委員長ならびに日本歯科医学教育学会役員・機関会員委員会委員も加え、ステークホルダーとして事業の管理・評価・提言を行っていただき、共に事業を推進します。また、委員会のもとに教育方法、評価方法の開発を目指す各種WG(①教育評価方法開発WG、②共同FD・ワークショップWG、③先端教育調査WG、④相互チェックWG等)を設置し、3大学共同プログラムを実施します。

### 評価体制等

内部評価委員会と外部評価委員会による評価を行います。  
内部評価委員会は3大学の歯学部長およびステークホルダーである歯科医学教育学会役員による自己点検・自己評価を実施する予定(毎年)です。  
また、外部評価委員会は3大学以外の有識者ならびに海外の歯学教育有識者に上記評価を実施します(3年目と最終年度)。

毎年約150人の学生を対象に  
1 口腔単位の統合的  
技能教育を実施

### >> 達成目標と数値目標

#### ① 臨床能力を具備した歯科医師の育成

- 卒業生全員が歯科モデル・コア・カリキュラムで提案する臨床実習内容を修得
- 臨床実習全シミュレーション教育用統合型モデルを完成させ、卒業生全員が臨床実習前に基本的な臨床基礎能力を具備
- PBL チュートリアル教育を充実させ、卒業生に対する学生アンケートにおいて80%以上の学生が生涯学習能力の確保ができたことを自覚

#### ② 次代を担う歯科研究者の養成

- 大学院充足率を90%以上
- 特別研究員を毎年採用

#### ③ 国際性と社会性の涵養

- 短期を含め、海外留学経験学生数を20%に
- 摂食リハビリテーション、歯工学など新たな歯科分野の大学院に進学する学生を20%増加

#### ④ 評価法と教育能力の開発

- 教員の80%以上がFD/WSを経験
- 事業開始2年目以降、成果報告をステークホルダー(日本歯科医学教育学会)の学術総会で3大学による共同発表を継続

### >> 期待される効果

① 歯学部臨床基礎教育・臨床実習教育の高度化を図ること、また問題発見・解決型学習の展開による生涯学習能力の向上を図ることにより、**国民の歯科医療向上に貢献する歯科医療人を育成**できる

② 学部段階からの系統立った研究能力開発プログラムの開発により、リサーチマインドを持つ歯学生の育成が可能となり、歯学系大学院進学率の向上、特別研究員採択数の増大により、**我が国の将来の歯学研究を担う研究者育成**につながる

③ 国際化推進プログラムの導入により、国際感覚を涵養することができ、**国際歯科保健・医療の現場で活躍できる人材育成**が図られる

④ これまで歯科教育に欠けていた福祉・保健医療の教育プログラムを開発、共有することにより、**現代社会の問題点である高齢社会で活躍できる歯科医師を輩出**することができる

⑤ 歯学教育の特色である技能教育の評価および問題発見・解決型学習に客観的な評価方法を開発し、全国に発信すること、および教育能力を共同で向上させることにより、**歯学教育の質の担保ならびに全国的な歯学教育の質の保証**が図られる





## 背景 Back Ground

平成21年に文部科学省「歯学教育改善・充実に関する調査協力者会議」から第一次報告～確かな臨床能力を備えた歯科医師養成方策～がまとめられ、公表されました。

この報告書では、

- ◎ 臨床実習教育の質の低下と形骸化による歯学部卒業時の臨床能力の低下
- ◎ 体系的な歯学教育を実施するうえでの教育資源の充実の必要性
- ◎ 優れた入学者の確保の必要性
- ◎ 次世代を担う歯学研究者の育成の必要性

などの歯学教育の問題点と課題が指摘され、その改善策として

1. 歯科医師として必要な臨床能力の確保
2. 優れた歯科医師を養成する体系的な歯学教育の実施
3. 歯科医師の社会的需要を見据えた優れた入学者の確保
4. 未来の歯科医療を拓く研究者の養成

が提言されました。

また、国際標準化、国内標準化の遅れや歯学分野の分野別認証評価の未実施による大学間格差も指摘されています。以上のことから**歯学教育の質の保証は、喫緊の課題**となっています。

## 事業の目的 Purpose

本事業では、これまで構築・運用してきた教育研究ネットワーク機能を活用し、3大学(新潟大学・東北大学・広島大学)の特色ある教育資源を提供し合い、それぞれの歯学教育を補完することにより3大学歯学部教育の高度化を目指します。また、得られた成果の情報発信、厳格かつ客観的な相互評価により日本の歯学教育の標準化を図り、将来の歯科医療の質の保証に資するとともに、我が国の歯学教育の国際標準への適合を目指します。

## 事業の概要 Outline

事業の目的を達成するため、まず、3大学が対等に教育改善を進める場として「共同教育プラットフォーム」を設置します。

この共同教育プラットフォームは、本事業の企画、運営の実質としてFDの開催や教務担当教員の相互派遣を主導し、3大学全体で、本事業の目標達成のため、

- ◎ 優れた歯学教育教材の開発・提供・実践・改善
- ◎ 問題発見・解決型学習の展開
- ◎ 特色ある教育の提供(相互乗り入れ講義)
- ◎ 学生の交流実習(歯学部版エクスタージンシップ)
- ◎ 客観的評価方法の開発

に関する施策を実行します。



## 年度別実施計画予定 Schedule

年度	目 標	実施計画予定
24	事業実施の準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共同教育プラットフォームの設置（特任教員、非常勤職員の採用）</li> <li>● ステークホルダーと共に課題の整理</li> <li>● キックオフシンポジウムの開催（現状把握と問題点の整理）</li> <li>● 3大学の教育内容・課題の相互チェック</li> <li>● 共同FD/WSの開催</li> <li>● 年度内部評価</li> <li>● 先端歯学教育、評価方法の調査</li> <li>● パンフレット作成</li> <li>● HPの立ち上げ、情報発信</li> </ul>
25	共同教育の整備、教材開発、評価方法の調査研究	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共通教材の提供、改善、開発</li> <li>● 相互乗り入れパイロット講義・実習（アンケート結果による改善）</li> <li>● 教育に関する共同研究成果発表</li> <li>● プログラムシンポジウム（新潟大）</li> <li>● 年度内部評価</li> <li>● 評価方法開発・研究</li> <li>● 共同FD/WSの開催</li> <li>● HPによる情報発信</li> </ul>
26	共同パイロット教育開始	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 共通教材の全国提供、アンケート集計</li> <li>● 相互乗り入れパイロット講義・実習（アンケート結果による改善）</li> <li>● 中間シンポジウムの開催および中間外部評価</li> <li>● プログラムシンポジウム（東北大）</li> <li>● 共同成果発表（国内外）</li> <li>● 年度内部評価</li> <li>● 評価方法トライアル</li> <li>● 共同FD/WSの開催</li> <li>● HPによる情報発信</li> </ul>
27	共同教育のブラッシュアップ、評価方法トライアル	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケート結果による共通教材の改善</li> <li>● 相互乗り入れ講義・実習（アンケート結果による改善）</li> <li>● サマースクールの開催</li> <li>● 共同成果発表（国内外）</li> <li>● 年度内部評価</li> <li>● プログラムシンポジウム（広島大）</li> <li>● 共同FD/WSの開催</li> <li>● HPによる情報発信</li> </ul>
28	共同教育のブラッシュアップ、最終評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>● アンケート結果による共同の改善、事業終了後の改善方策立案</li> <li>● 相互乗り入れ講義・実習</li> <li>● 最終評価シンポジウム</li> <li>● 共同FD/WSの開催</li> <li>● サマースクールの開催</li> <li>● 共同成果発表（国内外）</li> <li>● HPによる情報発信</li> </ul>

大学間連携共同教育推進事業プロジェクト代表校

新潟大学歯学部 〒951-8514 新潟市中央区学校町通2番町5274番地

Tel:025-227-0557 URL <http://www.dent.niigata-u.ac.jp>